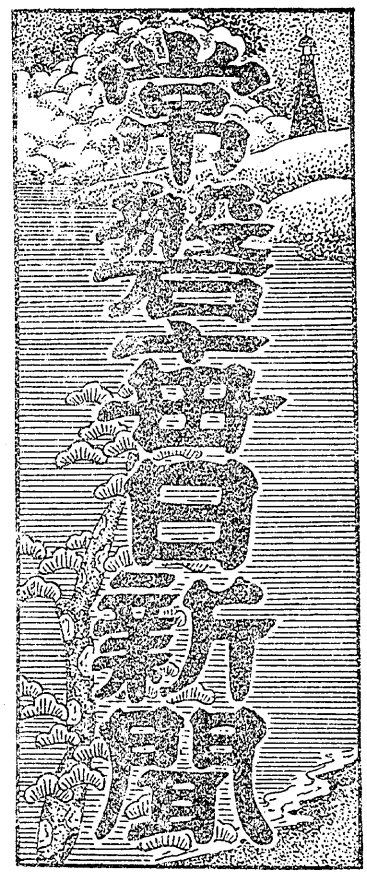
（大正十二年十一月八日 第三種郵便物認可）　昭和五年十月廿六日　常磐毎日新聞　〔日曜日〕〔第二千廿一號〕〔一〕

十月二十五日【夕刊】



定價一部金貳錢一月五十錢郵稅五厘
廣告料五號十三字詰一行五十錢
休刊日日曜・大祭祝日ノ翌日
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋五三
發行所　常磐毎日新聞社　電話三六〇番

磐崎好間兩村では 村議の定數を減ず

炭礦地各町村の人口減少著るし

石城郡下炭礦地帶の町村人口の增加は三四年前を峠としその後弗々減員しつゝあり殊に昨年より今年にかけての減少率は特に著しきものがあるなんづく磐崎村などは三井礦の廢山により村施設のあらゆるものにまで大變動を來した狀態であつたが更に他の町村共過般の國勢調査により豫想外の減少振りには新たな驚きを禁じえない有樣で先づ町村議員の定員を減ずる要あり次回までには昨年五月改選となつた許りとてまだ間があるので改選期を待たず缺員あるを幸ひに磐崎村では定員二十四名を近く規定を改め村會で十八名となす筈尙好間村も同樣二十四名であるがこれ又減員の一議が行れてゐる外相當考慮中にある町村が見受けられてゐる

出炭制限の結果は 三萬六千圓の減收

酒造稅と合すれば 實に六萬五千圓の大打擊

常磐地方炭礦の出炭二割二分制限實施で、平稅務署の鑛產稅は相當の減收を見ることになつた管下各炭礦の鑛產稅調停額は十四萬五千七百七十五圓であつたが、この產出制限で二割としても二萬九千圓の減收である。またこの課稅は石炭一噸の價格を八圓內外と見て算定されたもので、目下の取引價格五圓內外の下落ではこゝにも差額が生じ、三萬六千圓の減收を見ねばならぬ。同署としては酒造稅と共に收入の大部分を占めて居るこの合計六萬五千圓の減は大打擊である。

ビク〳〵の懸念が ホク〳〵の喜びに

善光寺團體の好況に 平驛長寧ろ面食ふ

時節柄失敗を覺悟の前で團體を募つて居た水戶運輸事務が主催の善光寺詣はビク〳〵で懸念して居た主催者側の豫想を裏切り反つて期日四日前に締切ると云ふ良成績で平町のみが止むなく斷つた人が十數名あるので是れ等の人々から是非どうにかと膝詰談判を蒙り面食つて居るといふ有樣で驛長はホクホク。

七海部長授勳

平警察署內鄕村巡査派出所詰巡査部長七海寅十郎は明治卅四年本縣巡査を拜命以來滿卅ヶ年を勤續し、今回勳八等に敍勳瑞寶章を授けらる

土木課長來平

淺見本縣土木課長は本日來平南新道路、新川改修工事、夏井川堤防等を視察した。

郡內七町中 最少の人口

植田五千八百人

植田町の人口は國勢調査の結果五千八百人で十四年度の五千三百人より五百名增加となつてゐる譯で、年々平均百人の增加であるが石城郡內七町中の最少人口であると。

小名濱修築費 四割天引き

是れでは仕事らしい仕事は出來ぬ

小名濱の來年度豫算は昨廿四日大藏省の査定を了したが、夫れに依ると削減一割五分昨年度の繰延べ二割五分合せて四割を天引きしたもので、來年度の定額卅五萬圓の四割即ち十四萬圓を差引いて廿一萬圓に減額されたもので、本年度と同樣殆んど仕事らしい仕事も出來ぬ型ちであると。

教員庭球申込

既報十一月三日平高コートにて開催される濱三郡教員庭球大會の出場申込みは來る卅日を以つて締切ると。

新幹坑に力を注ぎ 古河炭礦が大擴張

大炭層に着炭して

石城郡好間村古河炭礦が昨年九月約二百萬圓の莫大な資本を投じ起工した新斜坑は、廿日夜六尺から八尺に近い大炭層に着炭したので會社では今後新斜坑に全力を傾注すると共に、大擴張を爲して景氣の回復をはかる事になつたと。

三十名が タコ中毒

石城郡入遠野村大平鶴治方の會葬者三百五十名の內卅餘名がタコの中毒を起し手當中。

コンニヤク初取引

上遠野村で

石城郡上遠野村江戶屋商店に廿三日蒟蒻初取引があつた、御祝儀相場として特別一駄八十五圓で地方最初の取引である。今後は續々と取引が行はるゝであらうが金融關係か上州蒟蒻百五十圓に慘落し今月蒟蒻は七十圓前後、生球一貫目廿五錢位であらうと。

鉢谷柿出荷

廿八日東京へ

既報石城郡內より產出する鉢谷柿は愈々廿八日神田市場に共同出荷する事になつたが値段は五貫目二圓であると。

四丁目に 偉觀を添ふ

柴田ホール落成

平町四丁目に一偉觀を添ふべく期待された、柴田書店經營の柴田ホールは出材上遠野村山本材木店、大工平町增尾甚市郎、左官同八木吉松の手に依り建築中の處今回落成し、近く披露會を催す由であるが三階は一般集會に當てるエレベーター付の大ホールがある。

レコード大演奏會

平町三丁目天地堂蓄音器部にては來月一日午後六時から聚樂館に於て、レコード大演奏會を開催するが上演レコードは何れも新譜物の內より選み、美妙なる調べは幽玄な神秘境を現出すべく、入場料十錢で純益は全部貧困兒童の救濟に當てると。

明日のスポンヂ野球 優勝は果して何處

既報石城郡スポンヂ野球大會は愈々明廿六日磐中グランドに於て開催される筈であるが、昨夜大塚運動具店にて出場チームの各キャプテン者集り、抽籤の結果メンバーを決定した、出場者左記の如くで參加チーム數十三に達し何れが優勝するかを刮目されて居る。

（磐炭礦務課）中舘、市川、鈴木、管原、伊藤、志賀、川口、高橋、引地、（南町二部）小林、佐々木、本間兄、馬目、山野邊弟、音羽、本間弟、山野邊兄、大谷、（南町一部）小林興、阿部、山崎、鈴木、草野、阿部、大內、石川、草野、平野井、（磐炭町田）五十嵐、高木、吉田、大浦、大森、森田、中井川、横山、大橋、（磐炭運輸）鈴木、磯野、清野、橋本、中澤、樽井、岩佐、國井、豐田、（磐炭高坂）齋藤、齋藤、國府田、佐藤、佐藤、志賀、中谷、土岐、谷、（綴製作所）樫村、椎名、市川、小林、岩崎、設樂、大塚、國井、大和田、（平遞友）田母神、小野、赤塚、富田、櫻田、伊藤、草野、阿部、渡邊、（勿來新入）金成、大山、鈴木、金子、赤津、萬崎、氏妻、佐藤、戶井田、兒玉、（マーチャント）會川、山崎、藁谷、鵜浦、沼田、岩間、山田、二瓶、平田、（がんばり）酒井、草野、森、渡邊、星野、佐藤、百澤、森、長澤、（四倉OB）吉田、片寄、田中、出羽、鈴木、宮田、豐田、坂本、古川、（湯本クラブ）塚本、鈴木、佐分利、鈴木、黑井、朝妻、井坂、佐藤、高木